



あなたと議会をむすぶ  
GIKAI. MAGAZINE

こんにちは  
議会です

かんだ

JANUARY 25 2004  
NO. 78

KANDA TOWN



元気に初げいこ

## 12月定例会

委員会報告	P3~4
一般質問12人登壇	P5~17
カメラ見て歩き	P18~19

西 南 北  
東

がんばれ  
地域のサポーター

# 「旧軍ガス弾」の適切な 早期処置を国に求める 意見書

- 1 . 現在発見されている594発の安全かつ早急な処理
- 1 . 調査範囲の拡大...南港航路含む苅田港全体と埋立地内の土質調査
- 1 . 苅田町以外での処理施設の建設  
 ( 苅田以外で製造され、不法投棄されたものである )  
 ( 水産物等の風評被害・企業活動への支障が懸念されるため )  
 上記内容を全会一致で可決、関係機関へ送付した。



12月定例会は2日から18日まで会期17日間開催

条例、補正予算、人事案件など16件可決

## 意見書案

金融アセスメント法の制定を求める意見書  
可決

自衛隊のイラク派遣に反対する意見書  
可決

消費税の増税に反対する意見書  
否決

築城養護学校に高等部設置を求める意見書  
可決

苅田港における「旧軍ガス弾」の適切な早期処置を国に求める意見書  
可決

# 委員会報告

## 総務常任委員会

委員長 三原 茂

付託案件

条例改正

二件

補正予算

一件

その他

一件

慎重審議の結果、全議案を可決した。

議案と主な質疑

### 国民健康保険税条例の一部改正

税条例の改正に合わせ、国民健康保険税の納期の改訂を行うとともに関係条文の整理を行うものである。

Q 保険税の納期は8期になっているが、滞納をなくすためにも12期に変更できないか。

A 12期に変更しても滞納効果は期待できず、事務処理を簡素化するために現在の方法が適切である。

Q 12期に分けて納付することができるのか。

A 納期は8期に決まっているが、それ以後滞納がでた場合、納税者から相談があれば分割納付を行っていく。

### 一般会計補正予算

Q 地域コミュニティ活性化支援事業補助金交付規程は。

A 交付規程は現在内部調整をしており、3月議会までには提出する。



京築地区水道企業団

Q 審査委員会における町民代表の委員を公募するにあたり、論文等を提出させ趣旨に適した人材を選んだらどうか。

A 公募にあたり、今の意見を参考にしながら進めていく。

京築地区水道企業団を組織する市町村数の増加及び京築地区水道企業団規約の変更

京築地区水道企業団を組織する市町村に京都郡勝山町を加えるとともに、企業団の議会の組織を変更する規約の協議についてであります。

Q 勝山町の一日の取水量と負担額は。

A 日量1000tで負担額は約2億4000万円である。

Q 勝山町が加わることによる、苅田町への影響があるのか。苅田町への影響はない。

厚生文教常任委員会

委員長

川上 公美子

付託案件

補正予算

五件

慎重審議の結果、全議案を可決した。

議案と主な質疑

### 一般会計補正予算

Q 片島小学校体育館の段差解消やトイレ改修等のバリアフリー化予算は計上されているが、緊急に必要としている重度の障害を抱えている弱者に使うべきではないか。

A 町内8校について障害をもたれた子どもについて、学校生活が困らないように年次計画を立て努力している。

Q 障害児の教室を一階に移して、どれだけ効果があがるのか。

A 2ヶ月間様子を見て専門家の意見を尊重する。

Q 苅田小学校の渡り廊下の雨風対策は。

A 16年度での予算を考えている。



片島小学校

Q 教育費の工事請負費1、000万円の減額理由は。

A 中央公民館のアスベスト含有検査を行ったが検出されなかったため。

# 委員会報告

## 産業建設常任委員会

委員長 武内 幸次郎

### 付託案件

- 条例制定 一件
- 町道路線の認定 一件
- 補正予算 四件
- 訴訟事件の和解 一件
- その他 一件
- 慎重審議の結果、全議案を可決した。

### 議案と主な質疑

#### 苅田町産業立地促進条例の制定

臨空産業団地の分譲を開発するに当たり、企業立地の促進と雇用拡大を図るため、優遇措置を設けるものである。

- Q** 条例制定に当たってはどこを参考にしたのか。
- A** 優遇措置については全国的に多くの自治体で行われているが、主に久留米市を参考にした。
- Q** 臨空団地の分譲有効面積は。
- A** 21万5,634㎡である。
- Q** 北九州市と競合するが、下水道等の整備が出来ておらず分譲価格を下げるなど検討しないのか。
- A** 状況調査を行い態勢づくりを図る。

### 土地改良事業の施行

集地区の老朽化した「ため池」の改修工事を行うものである。

**Q** 受益面積と貯水量との関係や費用対効果などを検討すべきでは。

**A** 収水面積もあり、農振地域の池とは違い、下は人家もあり危険溜池事業でもある。今後の整備事業については検討課題としたい。

**Q** この地区の水稲作付面積は。



二又池

**A** 受益面積は3.5ha、耕作面積は2.2haである。

**Q** 団地などが近くにあり安全対策は。

**A** フェンスを設置する。

#### 一般会計補正予算

**Q** 漁船用燃油等補給施設の負担割合は。

**A** 県50%、町30%、組合20%である。

**Q** 商店街活性化がんばろう会は中心市街地活性化との兼ね合いを含めた協議なのか。

**A** 空き店舗や商店街に人を呼び込むなどの活性化策などの検討を行う。

#### 農業集落排水事業

##### 特別会計補正予算

**Q** 今年度の工事はどこまでするのか。

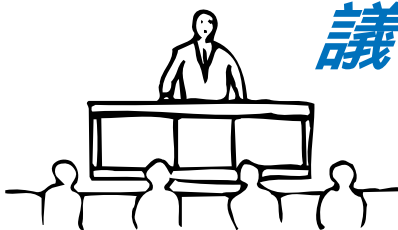
**A** 片島、木の元、浄土院、岡崎の一部で進捗率は30%である。

**Q** 処理場の場所は。

**A** 片島小学校入口の県道下を予定している。

**Q** 処理水はどこに流すのか。小波瀬川の下流に流す。

## 議会を傍聴しませんか



次の定例会は3月です。  
一般質問は3月9日・11日・12日(3日間)の予定。

開催時間/10時～17時(予定)受付は庁舎6階まで。

問い合わせは議会事務局まで( 434 - 1981 )

12月議会は138人の傍聴者がありました

12月定例会の一般質問は、9日・11日・12日に12人が登壇しました



作本 文男 議員

- 一、公共工事の偽計入札妨害について
- 二、シルバー人材センター使用途不明金の調査結果について
- 三、構造改革について



長井 孝篤 議員

- 一、苅田町政の課題と対策について



坂本東二郎 議員

- 一、固定資産税について
- 二、公共住宅ストック計画と民間賃貸との共存について
- 三、苅田駅周辺整備計画について



野本 正樹 議員

- 一、町民健康診断について
- 二、JR苅田港（桜ヶ丘）について
- 三、苅田町総合体育館のトレーニング室について



小山 信美 議員

- 一、ブックススタート事業について
- 二、犬等のふん公害防止条例の制定について



川上公美子 議員

- 一、町民によるこぼれる福祉の町づくりについて
- 二、安心、安全な町づくりについて

# 一般質問

# Q & A



梶原 弘子 議員

- 一、町が補助金を出している事業について
- 二、健全な児童育成について
- 三、町内の農業・漁業の現状について
- 四、人権問題のとりくみに
- 五、苅田町内の企業撤退の動向と対策について



富安 正直 議員

- 一、町長が掲げる「すまのなない福祉」について
- 二、地域コミュニティのあり方について
- 三、ゴミ問題について



武内幸次郎 議員

- 一、行財政改革について
- 二、農・漁業振興施策に向けた取組について
- 三、町づくりについて



井上 修 議員

- 一、苅田町における行事（イベント）等の見直しについて
- 二、少子化が進む今後の学校教育について
- 三、苅田町の拠点都市構想について



三原 茂 議員

- 一、これからの町づくりに
- 二、行財政改革について



林 繁実 議員

- 一、新しい時代における人材育成について
- 二、苅田町シルバー人材センターについて
- 三、行財政改革について

# Q シルバー人材センターの設立目的は

**A** 高齢者の生きがい・社会参加・地域づくりに寄与

## 作本 文男議員

**Q** シルバー人材センターの使用途不明金をいつ知ったのか。

**A** 9月10日・11日ごろだ。

**Q** 事務局長（橋岡）はいつ頃から使い込みをしていたのか。

**A** 人材センターが設立されたH12年10月頃からだと思う。

**Q** 橋岡は領収書を偽造したり、電化製品を買った事にしてたりで350万円を使い込んでいたが、どう調査したのか。

**A** 結局それが不正であり、現在人材センターで調査している。

**Q** 昨年の町長選挙の際、伊塚候補に50万円の陣中見舞いを出しているが。

**A** 大変迷惑な話だ。徹底的に調査したが事実はない。

**Q** 人材センターは1,500

万円の税金と170人の高齢者が汗水垂らした金で運営されている。橋岡は人権問題等に流用したと説明したようだがそういう事実があったのか。

**A** 知らなかった。

**Q** 橋岡は自分の使い込んだ金を人権問題に流用したと言いつつ、高齢者の為に設立された人材センターを食い物にしてきた。何故告発しないのか。

**A** 人材センター内部で調査し、町民・議会に明らかにして行く。

今回の入札に関して事前に町から指名が洩れていたのでは

**Q** 談合は町が業者を指名後、業者間で行う違法行為であり、偽計入札妨害（刑法96

条の2）は指名以前に指名業者名を知り、他の業者に談合を持ちかける行為である。今回の入札は指名前に中野建設が指名業者を知って、他の業者に談合を持ちかけている。10月2日に偽計入札妨害で町長と連絡を取ったがどう対応したのか。

**A** 私から中野建設に入札業者を洩らしたとか、知る立場にある担当者も洩らしていないと信じ、何の対応もしてない。

**Q** 事前に、しかも具体的に町長に連絡したにもかかわらず、何の調査もしてないとはどういう事か。

**A** 中野建設が電話した事が事実かどうかかわからないし、事前に洩れる事はある得ないと信じ何の対応もしなかった。

**Q** 町長と連絡後30分〜40分後にこの事件を知る由もない部外者から「中野と揉めているのか」という電話が入ってきたが。中野建設に電話を入れたのではないか。

**A** 電話番号も知らないし、一切してない。

**Q** これは事実であり、携帯電話は記録に残るし、後は司法の手ゆだねたい。

H15.10.1

指名通知をする前に中野建設が他の指名業者に談合依頼

H15.10.2

町から各業者に指名通知をする。

H15.10.3

現場説明会

H15.10.20

事前情報通り中野建設が落札。

（質問者が独自に入手した情報）



## Q 合併問題への対応は

### A 新議会と相談し住民の意向をくみ取り決める

長井 孝篤 議員

Q 合併特例法の期限（H17・3末）が迫ったが、町執行部としてどう対応するつもりか。

A 議会も新しい議員構成になり町民の意向を汲み上げながら、議会と相談して方向を決める。

Q 前回の住民アンケートで単独と当面単独志向が約70%だが、情報提供と設問の仕方が不適切ではないかとの指摘がある。再度検討してはどうか。

A 議会と勉強、相談しながら今後について決めていきたい。

### 新空港を町発展の起爆材に

Q 10月麻生知事が来訪、苅田を京築地域の拠点都市として整備事業を支援するとの意向が示された。具体的な苅田駅周辺の事業計画は。

A 駅を橋上化し、西口と東口をペDESTリアンデッキ（歩行者用通路）で繋ぐ。駅前広場の整備を行う。井場川河口は埋立。人の集まる施設を建設。以上平成16年度より、県と町が分担し民間活力も活かし、着実に実施していきたい。

Q 空港へのシャトルバス運行に関し、朽網駅との競合は。

A 北九州市方面の乗客は朽網駅を、苅田駅は京築・田川方面の乗客が利用する形になるだろう。

Q 臨空産業団地への企業誘致の際、下水道設備がないハンディがある。北九州市の協力をお願いできないのか。

A 北九州市とは何回も折衝したが、種々の障害があり出来ない。用地の分譲価格で配慮していく。

### 効率的な污水处理対策を

Q 県で新しく污水处理構想が出され、経済性と効率を追求した施設の整備を図ることになった。町の場合、公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽の3種類の設備整備が同時進行中だが、工期・経済性の面から今後見直す予定はないか。

A 污水处理法はそれぞれ一長一短があるが、平成16～17年で見直しを行う。

Q 合併浄化槽は経済性の面で最も安価であり、市街化調整区域での採用が望まれ

る。補助率を上げてでも採用促進を図るべきだと思つが。

A 苅田町の污水处理検討委員会を立ち上げその中で検討する。

### 早急なガス弾処理の実施を

Q 平成12年11月に苅田航路泊地に56発のガス弾が発見されて港湾浚渫工事はストップしたまま、その後更に538発もの爆弾らしき物体も確認された。町執行部

はどのように対応するつもりか。

A 56発の処理予算の執行を来年3月までにしなければ、次の538発の処理予算も付きにくい。また3年～5年かかると考えられる。是非、私も56発の処理を3月までにやって頂きたい。そのために、国・県と町が一体になり住民・漁協・企業への説明と理解を仰ぐ方向で馬力をかける。



空 港 連 絡 橋

## Q 苅田町の固定資産税は高いのでは

A 国の基準に基づいて町独自でなく評価している

坂本東二郎議員

Q 固定資産税における土地分、家屋分、償却資産分の内訳は。

A 土地分は納税義務者9、284人、土地が3万4、858筆、調定額15億8、627万円。家屋分が納税義務者8、267人、家屋が1万4、042筆、調定額13億6、580万円。償却資産については納税義務者491人、調定額が22億2、977万円であり、15年度の課税内容である。

Q 現在の地価のとらえ方が、公示価格を含めて実務とかけ離れているのではないか。

A 公示価格は鑑定士に基づいて評価してもらい、その7割が評価額という事で決めている。

Q 不動産の価格が今まで右肩上がり、資産課税をも

っと強めるべきだと言われてきたが、バブル崩壊後、長期下落傾向が10年以上続き実勢売買価格も下がり、住民の間に非常に重税感が高まってきた。納税の大原則は住民と行政との信頼関係であり、その信頼は適正な時価額を評価し、納税者に納得してもらった上で納税してもらおうという努力こそ大事ではないか。

A バブル崩壊後土地価格の下落については、平成9年度から下落修正も取り入れられている。

公営住宅と

民間賃貸住宅の共存

Q 町営住宅の入居希望者は何名いるのか。

A 12月8日現在で41名である。入居者数は8名である。

Q という事であれば受給ハ

ランスが崩れているという事で、新設の住宅計画、城南団地に60戸、長畑団地に30戸についても時間がかかりそうであるので、私の提案であるが、企業の住宅や空室・空き家を有効に活用したらどうか。

A 最近調査してみた。企業として話がありがたいが老朽化の問題、管理上の問題、期間の問題等々があり今後更に検討していきたい。

Q 公営住宅と民間賃貸住宅の共存の件であるが、官民の役割分担の中で、企業・民間賃貸業者・不動産業者と行政で今後の苅田町住宅整備計画の指針づくりの様な審議会を立ち上げ、民間資産の有効活用を計って頂きたい。

苅田駅前整備事業計画

Q 苅田駅前の活性化とりわけ新北九州空港の開港に向け、空港へのゲートウェイは苅田駅であるし又駅乗降客の長期下落に歯止めをかけ、快速急行がとまる駅に

するにはどうすべきか。

A 駅利用者、周辺住民の声を十分取り入れ、便利で使いやすいと更には空港が出来た時点で、エアポートライナーや快速列車をぜひとめる様JRにお願いしたい。



県営住宅



## Q JR苅田港線桜ヶ丘踏み切りの早期実現

### A 今後も改善に向けて話し合う

野本 正樹 議員

#### 町民健康診断は

Q 町民検診の対象者は40歳以上の人が該当するが、昨年と今回の町民検診のあり方について、どう改善されたのか。

A 昨年は9月から10月末まで期間を延長しました。検査項目につきましても、今年には町民検診の中に、前立腺ガンを新たに加えたというところが改正点である。

Q 前回は、町民検診を受ける人が50%を切っていた。一気に10%、20%に増えなと思うが、パートさんや、検診にいけない人の体制づくりを切に要望する。

Q JRの苅田港線、桜ヶ丘の西工大の下を、12月10日にブロック塀で完全に通行止めにするが、ここは地域の生活道路として今日まで何十年もの間利用されている経過があり、JRとどう交渉したのか。

A 桜ヶ丘踏み切りは仮称で、昔の字図で調べると里道があった。鉄道法の規程により国土交通省が認めていない踏み切りは、踏み切りと

認めないとの返答があった。JR側としたら踏み切りはできるだけ少ない方が良い。行政を預かる者としては、住民に便利のいい様にやっていきたい。

Q 踏み切りを通行している利用者は、何人位か調べた事はあるのか。

A まだ調べた事はない。

Q 利用している地域住民のためにも増一減で、これからJRとどう交渉していくのか。

A 増一減の話は、JRと苅田町において話しあった。町長を中心として誠心誠意、できるだけ早い時期に改善できるように話し合う。

#### 苅田町総合体育館トレーニング室の改善を

Q 前回、トレーニング室の増設を要望したが、設計段階と聞き、中学生も使用できる様な安全な機械等を取り入れた、ゆとり空間を希望したが、今回の設計段階でどうしていくのか。

A トレーニング室の面積は104㎡であり、素案の段階で東側に約36㎡増設、中庭には、子供たちと一緒に体育館に来た方が、子供と遊べる様な人工芝を中庭に敷き、遊びの空間の素案を作っていく。

Q トレーニング室に行けば、ストレッチ解消、減量もできる、本当にトレーニングに行きたい気持ちになる物を作っていただきたい。



改善が望まれる踏み切り

## Q ブックスタート事業の早期導入を

A 真剣に取り上げ検討していく

Q ブックスタート事業とはイギリスのパーミンガムで生まれ、0歳から本に親しむ為に絵本をプレゼントする運動で、親子が幼い時に肌のぬくもりを感じながら、良書に出会う事が心の成長を促す為に最も重要であるが、どのように理解しているか。

A 子供が成長する過程に、本が非常に重要な役割を示すことに同感である。事業の趣旨を考えると保護者にも有益で、少子化対策、子育て支援事業の一つとしても必要である。

Q 水巻町ではH13年4月から、7カ月乳幼児検診時に図書館のスタッフや保健婦の方がブックパック（2,000円程度）を配布しているが、当町の早期取り組みについてはどのように考

えているのか。

A 幼少時からの読み聞かせとか本に親しませるという事は、非常に意義深いものがあると思うので、健康福祉課、パンジープラザとも



図 書 館

協議して前向きに取り組んでいきたい。

Q 導入した自治体の結果報告では、語学面や数学的な能力においても発達しているという教育的なメリットも多大であるというが、町内でそのようなアンケートをとる方向はあるか。

A 先進地区でのデータが本町でも当てはまるので、追跡調査は検討する必要がある。

犬等のふん公害防止条例の制定を

Q 犬と散歩をする際に、ふんを持ち帰らない飼い主が多く、モラルの低下は目に余るものがあり、公園等周辺の住民にとっては、耐えがたく日常生活の上でも支障を来す問題となっている。早急に本町においても条例

の制定が必要と思うが。

A 環境基本計画が策定中であり、その中にも環境づくりの必要性がうたわれている。国や県においてもふん害等については、飼い主がきちんと処理するようにという条例をつくっているの、町をみんなで清潔な住み良い町にするという観点から検討はしてみたい。

Q 志免町の条例には町長が飼い主に対して指導、勧告することができ勧告に従わない時は公表し、違反者には罰金に処するという条文があるが、当町での取り組みはどのような形になされているか。

A 国の法律、県の条例の方には罰則が入っていない。ルールを守ってほしいというふうな形で広報に載せる方向である。



## Q 町民に喜ばれる福祉の町づくりを

### A 実現することに力を入れていく

川上公美子 議員

**Q** JR 苅田駅や小波瀬駅のエレベーターを1日も早く設置し、自分の住む地域の駅を使いたいという願いが強い。いつ頃実現できるのか。

**A** 苅田駅は平成18年から19年に、小波瀬駅は移転問題もあり長期になる。

**Q** 現在の苅田駅前是利用しにくい。これからの工事について、より広範な方の意見を集め施行すれば、手直しもなく税金のむだ使いもなくせるのではないか。

**A** そういうことを踏まえていく。

**Q** 4階建ての町営住宅の通路階段のすりが、改正された建築基準法を知らず一年半も実現できていない。これを今後にどのように生かすのか。

**A** H12〜15年度で予算化している。

#### 学校のバリアフリーを

**Q** 2001年3月に文部科学省から小中学校施設の整備方針が出されている。その基本方針では、小中学校を地域住民にとって最も身近な公共施設と位置づけ、

地域の生活学習やまちづくりの機として整備する観点から、施設のバリアフリー対策を図らねばならないと明記している。当面、障害児もいて要望のある学校から、その子にとって本筋に役立つものから着手すべきだが、片島小学校のエレベーターの必要性をどう判断しているか。

**A** 障害児の教室を2階から1階に移し2ヶ月様子を見る。

**Q** 苅田町には心身障害児の就学指導委員会があり、医者も入っているが委員会は開かれたのか。

**A** 定期的に開かれている。

**Q** 補正予算で体育館の段差解消、一階に障害者用のトイレの設置で425万円計上されている。投票時、催し物の時にバリアフリーで利用しやすくなるが、月々金曜まで学校に通う障害児にとってはこれだけでは不満足だ。補正予算を一時凍

結し、エレベーターの設置も含め3月補正が16年度当初予算に計上すべきだ。

**A** エレベーター設置が一番いいのかどうか、今の時点で判断できるのだろうかということも考えてみなければならぬ。

#### 公民館の総合的なメンテナンスを

**Q** 地域公民館の空調施設に高い修理費を払うより、各部屋ごとに小回りの効く空調にきりかえられないのか。

**A** これから独立した施設で検討する。

#### ゴミ無料の継続を

**Q** 行政コスト計算では、年間一世帯で8万3千円であるが、どのくらいを目標にしているのか。

**A** 減量のためだけにゴミ袋の有料化を検討するつもりはない。減量の目標は持っていない。

**Q** 毎日170キロの給食残滓をEM処理し、循環型の有機肥料にできないか。

**A** 検討する。



片島小学校体育館入口

## Q シルバー人材センターの使途不明金問題、納得の行く説明を

A 町の調査後、町民に正確な内容を伝える

梶原 弘子議員

Q シルバー人材センターの使途不明金問題はどのようになっているのかと複数の人から質問を受けるが、経過説明を求める。

A 理事会で一生懸命調査している。途中公開をするとは調査を阻害する恐れが十分ある。急いで厳しく調査させる。シルバー人材センターから報告が町に上がって来たら、町として当然調査し町民に報告する。

今後の社会福祉協議会は

Q 介護保険ができ社協の形が変わり、職員減、協議会無用の声が出るなど町長の基本的なことを聞きたい。

A 20年前の社協でいいという訳は全くない。非常に福祉分野で大切な部分を受け持ってもらっている。だが

らこそ変わってもらいたい。

Q 正規職員10名、全員の資格を持っていて、町民とつながり大きな財産を持っている。福祉の問題は効率だけで済まないことが多い。職員をこれ以上不安定にさせないよう約束してほしい。町民を守るために。

春美福祉会の理事会

Q 昨年の入園式の延期など、子ども達に迷惑をかけることのないよう、理事会の改善に力を入れてほしい。

A 町として職務権限はないが誠心誠意話していく以外にない。理事会の中で町側の発言に対して前向きに考えている人もいらっしゃる。すっきりした形にできたらいいと思っている。

Q 町はもっと踏みこんで最

初の理事会に戻してほしいが。  
A 我々もそういう気持ちでやっている。

町の人権施策

Q 人権週間の今、ハンセン病などの正しい認識はどのように取り組んでいるのか。又男女差別では役場職員の差別はないのか。

A 平成8年人権擁護条例を策定した。これをベースにして啓発に努めている。女性管理職に2人課長補佐はいるが、人材育成の中で試験制度を考える。

町内の農漁業育成は

Q 拠点都市整備事業でつくると言われる「海の駅」に対して農漁業の体制は整っているのか。農業の大半を

担っている、女性の役割や農業委員会に女性が1人もいない。海を美しくするゴミ除去に年間1億700万円上がった。トン譲と税の1割でもあてられないか。

A 特別トン譲と税は一般財源に入る。何に使っても良いが、関係者と話し合っていく。

町内企業の変動

Q 町内企業の撤退の声もきく。下請け、孫請けのリストラが開始されているが、人口、税金、なによりも働く人達などに影響が町は把握しているか。

A 時代とともに企業事業の内容が変わる。変わるべきだ。



賑わう地産地消フェア（役場前）

一般質問

# Q 地方分権社会には自助、互助、公助のバランスが重要

## A その精神で地域づくりを行っていく

富安 正直 議員

すきまのない福祉とは

Q J・F・ケネディは、国民に対し国家に何をしても与えるのではなく、国家に対して何が出来るのかを問うと訴えた。町においても自助互助の精神で、一人一人が地域に何が出来るのかを考え行動することが、苅田町の明るい未来を切り拓くと確信する。これを前提に、まず町の福祉政策のビジョンを問う。

A 質・量の充実した行政サービスを行政だけではなく、自分たちで助け、お互いに助けながら、必要と思う人が必要と思うときに受けられるような福祉サービスの充実はかかる。

Q 町民に自助、互助の努力を求める以上、行政や社会福祉協議会にも自助努力が必要だ。どのように取り組むのか。

A 福祉を一律にばら撒くのではなく、欲しい人が欲しいサービスを受ける機会の平等を求めて行きたい。社協に関しては地域福祉を増進する役目を確認するとともに、組織改革、会員増強、退職金の問題など自助努力を求めていく。

地域コミュニティ活性化

Q 町民が自助互助の力を発揮する主体として、各区、隣組などの活性化が必要だ。どう取り組むのか。

A 自分たちの地域のことは自分たちの地域で解決していくことは、地方分権の原点。老友会、婦人会、青年団、育成会、NPO、ボランティア、各区などの沢山のコミュニティが行政と共に公助、自助、互助の精神を持って地域づくりをしていくことが必要だ。今回、補正予算で、苅田町地域コミュニティ活性化支援事業として予算計上しているが、住民の自助努力による地域活性化を行うシステム作りを行政が手伝っていただくというものだ。

Q エコマネーなどの地域通貨の導入を検討してはどうか。

A 費用対効果の面など問題もあるようだが、勉強してみたい。

### ごみ問題

Q 最終処分場やエコプラントの長期的な見通しと、ごみの分別や減量などの具体

策を問う。

A 最終処分場を町が持つていないのは大きな問題だが、広域行政で解決すべきと考える。エコプラントは財政的な問題が若干あるが、RDF施設が各地で問題になっている中で、生ごみの再資源化施設としては成功している。ごみ出しルールを町民の方々の協力を得ながら

ら徹底を図っていくことも必要だ。

Q ごみ問題や福祉問題でも、自助、互助の精神が重要だ。現在問題になっているシルバー人材センターには、その奉仕の精神を持った方々が集まっている。今後町民に自助互助を求める根拠を失わない為に、早急に厳しい処分をすべきだ。



## Q 自己決定、自己管理の原則に立った町づくりを

A 行政的にも財政的にも自立した町をめざす

### 武内幸次郎議員

Q 第2次行政改革大綱では、

町民参画、地域主権・評価という基本理念であるが基本方針はどのようなものか。

A 一、町民参画の行政を推進。

二、町の役割を明確にする。

三、経営的視点で業務を見直す。

四、組織、人材を最大限に活用する。

五、評価システムを構築する。

六、教育改革の推進を図る。以上六項目である。

Q 既得権益への切り込みをどのように図っていくのか。

A 非常に難しいが職員に改革の必要性の周知徹底を図り、血を流すという覚悟で頑張っていく。

Q 具体的に町民参画や協同を

どのように図るのか。

A 町民提案制度や町民によるワークショップ等を考えている。

Q 町民参画基本条例を平成17年に制定することであるが、住民参画を図る上での基本であり早急にすべきではないのか。

A 住民参画の基本でもあり早く立ち上げたい。

Q 人材登録制度の充実とあるが、この制度は平成12年9月1日に制定しており現状はどうか。

A 広報等で募集をかけ、個々の持っている能力を登録してもらい、需要と供給に応じて消化するようにしているが、残念ながら4人程度の登録のみである。

Q 平成12年に発足し今日に至っているが、この間に反省も含め問題点を精査しなかったのか。

A 真剣な論議が残念ながらなされておらず、反省している。時代背景も考え充実に向け取り組みたい。

Q 第2次行政改革の結果として、3年間累計で10億円の削減を図るとなっているが根拠は。

A 数値目標、10億円の中身は人件費が約2億6,000万円、物件費・補助費が約3億9,000万円、税の徴収率の向上により2億7,000万円程度である。

Q 職員の必要な能力として、政策能力、創造的能力、法制能力、経営能力が考えられる。

加えて人材育成の観点に立った人事管理等も必要だと思っ

A 人材育成基本方針に添って行っが、自己啓発、自己

改革が重要である。人材育成に向け、一生懸命に取り組んでいく。

Q 公共施設の効率的な管理運営で留意すべき点として、施設の機能、役割、運営方法、利用見込み、維持管理経費等が上げられるがどのように考えるか。

A 職員でやるか、住民にお願いするか、委託すべきか。施設の運営の中で民間に任せて運営した方が良いとの判断があれば民間委託にする。外部委託の見直しの中で検討していく。



役場庁舎

## Q 苅田拠点都市構想とは

### A 京築地方の拠点都市と位置付けて整備を行う

井上 修 議員

苅田町における行事

(イベント)等の見直し

Q 主催の問題についてお伺いしたい。

A 地方分権の行政を行なう上で町の役割、町民の役割分担を明確にして行く。

Q 今、苅田町に文化協会を含めて15の団体がある。行政主導型が多く、町民主導型にできないか。

A 第2次行政改革の中で従来の行政主導型から民間主導型へ、一定の方向づけをだしていきたい。

少子化が進む

今後の学校教育

Q 少子化が進む今後の学校教育について伺う。

A 子供の教育を第一に考え町全体の教育条件、教育環境を整備し教育審議会を設立した。抜本的総合的に検討して行きたい。

Q 苅田町の前期後期の2学期制導入についてお聞きしたい。

A 第一回目の検討委員会でメリットの意見が多い。平成16年度4月から施行したい。

Q 片島小学校の生徒が少ない。

い。片島、岡崎にある土地

開発会社が管理している、約2万6000坪の一部を東九州自動車道が通る計画がある。宅地化できるのか。

A 国、県とも十分協議し、できると言う方向で進んでいる。

Q 将来生徒が増えない、片島、岡崎にある開発公社の土地に住宅ができなかつたら、統廃合の可能性は。

A 難しい問題だが全町的に教育効果の上がる学級、学校規模等教育問題審議会の中で検討されてくる結果を受けて考えていきたい。

苅田町の苅田拠点都市構想

Q 苅田拠点都市整備推進協議会が10月に設置された。

A 新聞、テレビにも麻生知事が全面支援等の報道があり、町民の期待も大きい町長の考えをお伺いしたい。

A 新しい空港ができる町づくりと言う面で、非常にいい材料だ。現にJR苅田駅の西口、東口、井場川の事業整備については積極的に事業支援をいただいており、決してリップサービスではない。

市昇格資格条件は

Q 市になる資格があるのか。

A 人口5万人にならないとできない。自立した町を目指して行く場合、どうしても市と言う形がほしい。それに向けて頑張っていく。

Q 苅田町が持っている工業団地大型事業で経費も使っている企業誘致にぜひ力を入れていただきたい。

A 組織を見直し、企業誘致が進められる形をとって行く。



J R 苅 田 駅

## Q 合併問題に対して適切な対応及び

### 町民に対して充分説明をしたのか

A まだ十分に対応できていない

これからのまちづくり

Q 合併に対する町民の皆さんの意志は明確に示されたと言われたが、どのような根拠なのか。

A アンケートの結果、明確な形がでたと考えている。

Q 6千人のアンケートの結果で決めるのは不適切だと思っているが、このアンケートで充分町民の皆さんの考えが明確になったと思われるのか。

A 統計学上その数で充分に意向が反映されたと信じている。

Q 北九州市との合併に関する協議はなされてきたのか。

A 広域行政研究会のなかで研修してきた。

Q 合併に対して3月までに住民と議会の意向を確認して最終的な結論を出したい



合併シンポジウム

と述べられたが、住民と議会の意向をどのような形で、いつ頃確認するのか。

A 議員の皆さんと相談しながら進めていく。

Q 合併問題に関して町民の皆さんに充分な判断材料を示さず、不公平なアンケート

## 三原 茂議員

トのもとに方向性が決められようとしている。仮に北九州市と合併した場合のまちづくりの姿・形を示し、一方で単独だった場合の5年後、10年後、20年後の町の変わっていく具体的な姿を示した後に、すべての町民に対して公平で公正なアンケートを実施し、より精度の高い町民の皆さんの意志・考えを確認すべきだと思っているがどうか。

A これから勉強し、どういう方向を選んだらいいのか考えていく。

Q 麻生県知事が来町した際町長は苅田市を目指したいと述べられたが事実なのか。また、市を目指す際の枠組みは。また、いつまでを目標にするのか。

A 仮に合併をしないという結論がでた場合、市を目指す

すべきだろうと考えている。福岡県の方でも現在の姿でも市になる資格は充分あるので、昇格するように応援しようと言っていたいただいたのが真意だ。

### 駅前開発は

Q 苅田町拠点都市整備事業は、どういった目的、効果を見込んで行つのか。

A 中心市街地を活性化していきつと行うことと、新しい空港ができるのを機会に苅田町の発展にぜひ活用しようと思っている。

Q 駅前開発に45〜50億円投資をして、本当に有効なのかどうか疑問に感じている。乗降客が減少しても特急が停車しない限り、乗降客が伸びる可能性は望みにくい。見込みについてどのように予測され経済効果をどう考えているのか。

A 魅力的な駅周辺にし、空港利用客に立ち寄っていただくための事業です。また、経済効果についてはまだ試算していない。

Q 今回の事業の中で一番ムダになる可能性があるのはシャトルバスだと思ってい

るが、この事業費はいくらになるのか。

A はっきりとした事業費は答えられない。

Q シャトルバスを計画しているのは朽網駅、苅田駅、行橋駅の3ヶ所だ。朽網駅については空港から一番近い距離にあり、北部圏の人達の利用が予測される。また、行橋駅については特急が停車し、平成筑豊鉄道とも連結されており南部圏の利用が予測される中、苅田駅のシャトルバスが本当に必要なのか。

A 朽網駅と苅田駅を比べたら2〜3分しか変わらないので当然必要だと思っ

Q 苅田駅を利用し空港に行かれる人達の大半は町外の人です。そういった人達のために何10億円もかけて整備するより、今、苅田町に住んでいる町民の基盤整備に使うのが有効だと考えるが、必要な事業とムダなものとの充分精査するべきだと思っ

A 費用・効果をきちんと見積もってとりかかっていき



## Q 新しい時代における人材育成は

### A 人材育成基本方針を基に育成する

林 繁実 議員

Q 苅田町の人材育成基本方針はいつつくられたか。

A 平成14年8月である。

Q 平成9年11月14日、国は地方分権の推進に対応した行政体制の整備の一環として、地方公共団体が政策立案能力の向上等を図る為の人材育成に努める様、人材育成に関する基本方針（人材育成の目的方策等）を明確にし、策定するように指針を示しているが知っているか。

A 知らない。

Q 国が策定するように示し、その5年後にやっと作るこの現状で、今のスピード時代についていけない、取り残されることは明確である。そこで苅田町の人材育成の目的の明確化はどの様になっているのか。新しい時代を迎える中で、政策立案、調整能力等の重要性が高まってきたている。苅田町の将来像と行政のあり方を踏まえながら、人材育成の目的及び時代に求められる職員像を明らかにすることが重要であるが。

A 町の行政課題に適切に対応する為、職員づくりと職

場の活性化を図る。

Q 人材育成基本方針には苅田町独自のまちづくり、人材育成が全く見えないが。

A 先進の自治体を参考に作成した。

Q 職員提案制度はいつ作ったか。提案件数とその内容は。

A 平成15年度は1件。14年・13年はない。あまり生かされていない。

Q 職員の人事異動基準において職員が持てる力を十分に発揮し、行政分野を広く体験させることにより企画力、調達力、指導力を育成することになるが、移動基準通り実施しているのか。

A 徐々に基準通りにやっていく。

Q 新しい時代にふさわしい人材確保の方策の着眼点について、私は、職員像の明確化である。

職場の魅力情勢である。（職場風土の改善、能力、実力主義の人事管理システムの採用）

人材確保に対する積極的な取り組み。中長期的な視点での人材確保。

自治体相互の連携協力。

以上5つが人材確保の着眼点であると思う。新しい時代を迎えた今日高度化、多様化する住民ニーズに即応し、豊かさゆとりを実感できる地域社会を築き上げていく為に、自治体の果たす役割はますます重要となつて来る。この状況に適切に対応する為、職員一人一人が全体の奉仕者である

と改めて自覚し、意欲を持って職務に取り組むこともとより、住民に身近な行政サービスの担い手としての心構えや効果的な行政を行う為の、経営感覚を身につけることが一層求められている。その為の時代に対応する人材の育成が重要であると思うが。

A 本当にその通りと思う。



苅田町人材育成基本方針



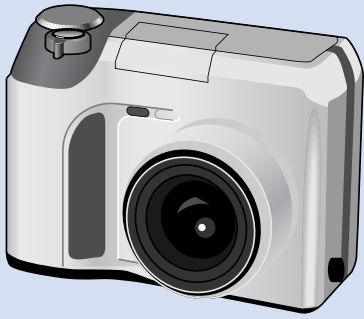
# カメラ 見て歩き



出初め式



神楽の伝承（於：馬場小）



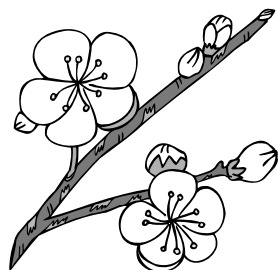
# 祝成人



# 初稽古



(社)日本空手協会みやこ道場けいこ風景



東西南北 No.16

がんばれ地域のサポーター

(第二回)

行橋警察署少年補導員連絡会

苅田支部

活動概況

行橋警察署少年補導員連絡会

会長 後藤 正男

行橋警察署長より委嘱を受けた青少年の非行防止及び健全育成を目的とした補導活動を主とした団体で、苅田支部に二十名の構成員を持って活動をしている。最近の青少年の非行概況を行橋管内資料を見ても、低年齢化のよう、中学生をトップに高校生と続いているようです。

特に町内に於ける犯罪概況を見ると、全町に多種類の犯罪が昨年度だけでも、約七四〇件も発生している状態です。少年の非行事件として行橋管内の発生状況を資料により見ますと、少年非行の概況の刑法犯少年一九六人、内訳、窃盗一四八人、占離横領三五

人、粗暴犯十一人、その他二人。2、不良行為少年一、六百十七人等で、県下では全体で四十七・八%が少年事件となっています。

そうした環境化で如何にして青少年を非行から守り、起こさせないか、日夜活動の対象にしております。活動状態も青少年に限定され、特に顕著なもの上げると、毎月青少年を守る日(第三水曜日)、それと第二金曜日の県下一斉街頭補導日を他団体と協力して活動をしております。毎月四回ほど、曜日を特定しないで朝七時半と午後五時より一時間、苅田駅を中心に、又小波瀬駅にての高校生を対象に

喫煙対策及び乗車マナー等を警察と協同で行って、丁度二年になります。

これは行橋署美夜古ヤングサポーター総合対策の一環としての活動をして、継続は力なりで可成効果をあげております。その他小中学生の女子児童生徒への痴漢行為が三十六件近く発生して、その防止対策として通学路活動に、他団体と協力して活動をしております。その他、青少年のシンナー吸引防止や溜まり場の浄化も行ったり、町内の商店等に青少年の育成の障害なる雑誌、ビデオ等の販売について配慮するよう協力をお願いしている所です。全町行事である港祭り、盆踊り、神幸祭等の行事があればパトロール活動も広く行っており、青少年の非行防止活動を他団体と警察と一体となつて、防止活動を実施して安全の確保につとめています。

その他、他団体との共同研修会を開催して、会員の質の向上のためや、青少年へのアプローチの研修等をやつて、お互い相互の情報交換等をするために毎月二十五日に定例会議を開催して、その月の反省事項や来月の行事計画等の確認やその他必要事項の打ち合わせを行っております。



あとがき

明けましておめでとうございます。今年最初の「議会広報かんだ」です。

地方分権時代を迎え、地域が出来ることは地域の力で解決していくという機運が全国的に拡がりつつあります。

毎号、最後のページに東西南北という欄を設けておりますが、前月、No.77からは「がんばれ地域のサポーター」と題し、前号の育成会連合会、今回の少年補導員と、青少年の健全育成や地域振興などで、町に大きな貢献をして頂いている団体に寄稿をお願いしています。

地域の力を発揮していただいている皆さんを今後も紹介してまいります。ご期待ください。

富安正直

議会広報特別委員会

- 委員長 光 永 信 雄
- 副委員長 富 安 正 直
- 委員 梶 原 弘 子
- 委員 井 上 文 男
- 委員 三 原 茂 修
- 委員 小 山 信 美